

# 2023 年度 グローバル地域文化学部 海外インターンシップ 募 集 要 項

| 研修地                | 単位数  | 研修期間（予定）                   | 担当者            | 募集人数                    | 費用※     |
|--------------------|------|----------------------------|----------------|-------------------------|---------|
| オーストラリア<br>（メルボルン） | 2 単位 | 2023 年<br>8 月 10 日－9 月 7 日 | 稲垣 俊史<br>久野 聖子 | 約 15 名<br>（最少催行人員：2 名）  | 約 75 万円 |
| カナダ<br>（バンクーバー）    | 2 単位 | 2023 年<br>8 月 27 日－9 月 5 日 | 稲垣 俊史<br>神 崎 舞 | 約 15 名<br>（最少催行人員：10 名） | 約 65 万円 |

※費用は 2022 年 11 月現在の為替レート等に基づいて算出しています。今後の世界情勢や為替レートの変動、またスケジュールや参加人数の変更、感染対策により、参加費用は変動します。

|                                                                                                                                               |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 説明会に出席できなかった場合など、プログラムの内容に関する質問や個別相談はこちらへ                                                                                                     |
| 稲垣 俊史( <a href="mailto:sinagaki@mail.doshisha.ac.jp">sinagaki@mail.doshisha.ac.jp</a> )                                                       |
| その他の問い合わせ                                                                                                                                     |
| グローバル地域文化学部事務室（月～金：9:00～11:30・12:30～17:00）<br>TEL：075-251-2610 / <a href="mailto:ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp">ji-grjm@mail.doshisha.ac.jp</a> |

## ■科目の取扱い

|                 |                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 対 象             | 「海外インターンシップ」の成績付与は 2023 年度秋学期末であるため、 <b>再修生(5 年次生以上)で 2023 年度春学期卒業見込の学生は出願できない。</b>                                                                                                                                                                                                                       |
| 単位の取扱い          | 2 単位のうち 1 単位は選択必修科目 B 群(スタディ・アブロード科目群)の単位に充当する。残り 1 単位は選択必修科目 C 群(外国語関連科目群)の下記言語の単位に充当する。ただし、すでに選択必修科目 B 群にて 1 単位履修済の場合は、2 単位を下記言語の単位に充当する。<br>・オーストラリア プログラム：英語                      ・カナダ プログラム：英語                                                                                                       |
| 開講年度・学期         | 2023 年度 春学期                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 科目登録における<br>注意点 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■大学が一括登録を行う。各自での登録手続は不要。</li> <li>■「海外インターンシップ」の開講年度・学期は「2023 年度・春学期」で、事前授業も 2023 年度春学期に実施される。科目登録の際、「海外インターンシップ」の<b>事前授業と他の春学期科目が、時間割重複または二校地間移動不可とならないよう十分確認すること</b>。事前授業と他の春学期科目が時間割重複（二校地間移動不可を含む）を起こした場合、時間割重複した科目もしくは「海外インターンシップ」のいずれかの科目は履修できない。</li> </ul> |
| 成績通知            | 成績は春学期末に付与されない。「保留」となる。秋学期末に通知する。                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 備 考             | プログラム参加者は、現地での研修に加え、出発前に行われる事前授業と危機管理オリエンテーション、帰国後に行われる事後授業に必ず参加しなければならない。                                                                                                                                                                                                                                |

=====出願前に必ず読んでください=====

## ■コロナ禍における海外渡航を伴うプログラムについて

現在、外務省海外安全ホームページにおいて、全世界に対して、感染症危険情報レベル 1(十分注意してください)が発出されています。(2022 年 12 月 9 日現在)(外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>)

本学では、危険情報(感染症危険情報を含む)レベル 1 が発出されている状態で、学生の海外渡航を伴うプログラムを実施する場合、当該学生の渡航に関し、**学生本人及びその父母に対し、渡航の意向について文書により確認することが必要**である旨定められています。

以下の事項を承諾・厳守することを誓約していただくことが渡航の条件になります。

1. 学生本人および連帯保証人(保証人を含む)が渡航を強く希望していること
2. 学生本人および連帯保証人(保証人を含む)が募集要項に記載のすべての内容を正しく理解していること
3. 学生本人が、当該科目の出発までに、渡航先の国・地域への入国および日本への帰国の際に支障が生じない回数の新型コロナウイルス感染症ワクチンの接種を完了してしていること。また、ワクチン接種に起因するリスクを学生本人および連帯保証人(保証人を含む)が理解し、自らの判断と責任に基づき接種すること
4. 学生本人および連帯保証人(保証人を含む)は、渡航先の国・地域が新型コロナウイルス感染症の影響により、外務省の感染症危険情報レベル 1 以上であることを確認するとともに、これに伴うリスクを理解し、渡航によって生じるすべての責任を負うこと
5. 新型コロナウイルス感染症を含め、渡航中の疾病に対し、十分な補償が受けられる保険に加入していること
6. ワクチン接種証明書が必要な場合、学生本人の責任において手配し、発行が間に合わない場合に生じる不利益についても学生本人が対応すること
7. 渡航先の国・地域への入国に際して、諸外国政府が検査や隔離等の出入国管理措置を定めた場合には、それを遵守すること。また、帰国時に、日本国政府が出入国管理措置等を定めた場合は、それを遵守すること
8. 渡航後に帰国勧告が発出される場合があることを理解し、渡航先の関連機関等や本学からの指示に従うこと
9. 同志社大学が定めた渡航条件を前提に渡航準備を進めた場合であっても、状況変化による入国制限やビザ発給の遅延により渡航できない可能性があることや、いずれかの条件が整わない場合および現地の感染状況の急激な悪化等により、大学が渡航中止を指示する場合があることを理解すること
10. 上記に記載する事態に伴い発生する費用については、自らが負担すること
11. 当該科目のプログラムの期間中は、渡航先の国・地域内に滞在すること

※今後、渡航先の国の入国条件、研修先機関の条件、ワクチンパスポートの有効期限との関係で、新型コロナウイルスワクチンの追加接種が出発前や渡航後に現地にて必要となる場合があります。

※隔離に伴い発生する費用についてはプログラム費用に含まれません。

- オーストラリア プログラム、カナダ プログラムのいずれについても、**当該プログラムの出発日と、新型コロナウイルス感染者の療養期間、または、濃厚接触者の待機期間が重なり、予定されている出発日に出発できなかった場合、渡航は認めません。旅行契約は取り消し(キャンセル)してください。(取り消しには、取消料が発生します。取消料は旅行契約の解除の時期により異なります。)**また、これに伴い、「海外インターンシップ」は履修中止とします。
- 日本入国時の検疫措置は、全ての帰国者・入国者について、原則として、入国時検査を実施せず、入国後の自宅又は宿泊施設での待機、待機期間中のフォローアップ、公共交通機関不使用等は求めないこととしています。ただし、**全ての帰国者・入国者について、世界保健機関(WHO)の緊急使用リストに掲載されているワクチンの接種証明書(3回)又は出国前 72 時間以内に受けた検査の陰性証明書のいずれかの提出が必要**です。  
有効なワクチン接種証明書を保持していない全ての入国者(日本人を含む)は、出国前 72 時間以内に検査を受け、医療機関等により発行された陰性の検査証明書を入国時に、検疫所へ提示しなければなりません。  
**有効なワクチン接種証明書又は検査証明書のいずれも提示できない方は、検疫法に基づき、原則として日本への上陸が認められません。**また、**出発国において搭乗前にワクチン接種証明書又は検査証明書のいずれも所持していない場合には、航空機への搭乗を拒否されます。**

厚生労働省 水際対策 [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00209.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html)

厚生労働省 出国前検査証明書 [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\\_00248.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00248.html)

厚生労働省 有効なワクチン接種証明書 [https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/border\\_vaccine.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/border_vaccine.html)

(2022 年 12 月 9 日現在)

現地では厚生労働省が定める「有効な検査」を実施する検査場が減少しており、受検が難しい状況になっています。このため、本学部では、プログラム参加者の円滑な帰国のため、**渡航前にワクチンの接種(3 回)証明書を取得することを強く推奨**します。

## ■その他 出願にあたっての注意事項

- 本プログラム期間中、本学と参加者は、大学付与のメールアドレスを使って連絡を取ります。大学付与のメールアドレスへ送信されたメールを確認しなかったことが原因で発生した不利益については当該学生自身にご対応いただきます。
- 本プログラム参加期間中は「在学」扱いであり、**プログラム参加費用とは別に本学への学費の納入が必要**です。参加について十分に考慮し、保護者の方とよく相談した上で出願してください。
- プログラム参加時の学年によっては、プログラム期間と就職活動の時期が重複する可能性があります。十分に考慮したうえで出願してください。
- プログラム開始前・開始後ともに、**キャンセルは原則として認めません**。参加について十分に考慮し、保護者の方とよく相談した上で出願してください。プログラムに参加することが決定した後にキャンセルした場合、参加費全額の返金の保証はできません。
- 合格者数が最少催行人員に満たなかった場合、プログラムは実施されない可能性があります。参加者決定後、キャンセルにより参加者が最少催行人員を下回り、プログラムの開催が不可能となった場合も同様です。
- プログラム出発前に、外務省の海外安全ホームページにて発表される感染症危険情報および危険情報「レベル 2: 不要不急の渡航は止めてください。」もしくはそれ以上が発出された場合、プログラムが中止となることがあります。その場合、納入いただいたプログラム参加費用の一部または全額をお返しできないことがあります。また、現地の治安状況および世界情勢等によっては、プログラムが急きょ中止になる場合もあります。プログラム開始後であっても大学長による帰国勧告等が出された場合は帰国しなければなりませんので、あらかじめご了承ください。  
外務省海外安全ホームページ <https://www.anzen.mofa.go.jp/>
- 参加にあたっては、研修先機関の規則および本学の定める誓約事項を厳守いただきます。
- プログラム参加者は、事前授業と事後授業、およびマッチング面接(合格者に後日通知)に必ず参加してください。事前授業に出席しない場合、あるいはマッチング面接で不適格と判断された場合、プログラムに参加できなくなることがありますので注意してください。その際発生するキャンセル料はご自身の負担となります。
- プログラムごとに参加者の中からリーダー・サブリーダーを選出します。出発・帰国に際しては、参加者全員で団体行動をとります。単独行動は認められません。

## ■出願受付

|      |                                                                                                                                               |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 受付期間 | 2023 年 1 月 10 日(火) ～ 1 月 17 日(火) ※事務室開室時間に限る                                                                                                  |
| 提出書類 | 本学部所定の願書<<写真貼付>>                                                                                                                              |
| 提出先  | グローバル地域文化学部事務室                                                                                                                                |
| 特記事項 | <p>■「海外インターンシップ」として提供される 2 つのプログラムはそれぞれ併願が可能。</p> <p>■「海外語学プログラム(英語)Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」と「海外インターンシップ」も併願可能だが、それぞれの願書には併願の有無と、どちらを第 1 希望としているかを必ず記載すること。</p> |

## ■選考試験(面接試験)

|      |                                                                                                                          |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 実施日時 | 2023 年 1 月 26 日(木) 16 時 40 分～                                                                                            |
| 集合場所 | 志高館 112 教室(SK112)                                                                                                        |
| 特記事項 | <p>この選考試験と同日時に期末試験がある場合は、出願時に申し出ること。面接終了時刻は受験者数によって前後するため未定。</p> <p>※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、Zoom 等 オンラインで実施する場合があります。</p> |

## ■結果発表

|      |                                     |
|------|-------------------------------------|
| 発表日時 | 2023 年 1 月 31 日(金) 0 時～             |
| 発表場所 | DUET メッセージ                          |
| 特記事項 | 出願者数の状況により第 2 希望以降のプログラムに合格する場合がある。 |

## ■参加費納入

当科目への参加が決定した方は、参加費を納入する必要があります。参加費の納入期限は以下の期日を予定しています。

**保護者等と参加費の支弁方法について十分相談の上で出願してください。**参加費は、今後の世界情勢や為替レートの変動、またスケジュールや参加人数の変更、感染対策により変動する可能性があります。事情により金額不足が生じた場合は不足分を追加徴収します。逆に、実費が徴収した参加費を下回った場合は差額を返金します。なお、参加費には、状況の変動を見込み、予め数万円の予備費を含んでいます。

|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 申込金    | 4 月下旬 (5 万円)             |
| 第 2 期分 | 6 月下旬 (費用から 5 万円を差し引いた額) |

## ■奨学金

「海外インターンシップ」に参加し、合格評価を得た方は下記の2つの奨学金を受給することが可能です(2つの奨学金を併用することも可能です。)。両奨学金ともに渡航 1 ヶ月前までに詳細を案内します。不明点はグローバル地域文化学部事務室へ問い合わせてください。

| 同志社大学海外活動を伴う正課科目履修者に対する奨学金       |                                                                  |
|----------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 申 込 方 法 ( 概 要 )                  | 1. 科目担当教員による申込(参加者による申込は不要)<br>2. 参加者は帰国後、パスポートのコピー、口座振込用紙依頼書を提出 |
| 申 請 書 類 提 出 先                    | 上記1. 国際課(但し、参加者による申込は不要)<br>上記2. グローバル地域文化学部事務室                  |
| 支 給 額                            | 5 万円                                                             |
| 支 給 時 期                          | 成績発表後(秋学期末)                                                      |
| グローバル地域文化学部 海外インターンシップ合格者に対する奨学金 |                                                                  |
| 申 込 方 法 ( 概 要 )                  | 1. 参加者本人による申込<br>2. 参加者は帰国後、申請書、パスポートのコピーを提出                     |
| 申 請 書 類 提 出 先                    | グローバル地域文化学部事務室                                                   |
| 支 給 額                            | 5 万円                                                             |
| 支 給 時 期                          | 成績発表後(秋学期末)                                                      |

## ■事前授業(2023 年度春学期中に 3 回実施)

プログラム参加者は、事前授業に必ず出席しなければなりません。病気などで欠席する場合を除いて必ず出席する必要があります。事前授業の曜日講時は、2023 年度のシラバスで確認してください。事前授業に出席しない場合は、プログラムへの参加を認めないことがあります。その際発生するキャンセル料はご自身でご負担いただきます。

## ■危機管理オリエンテーション(2023 年 7 月上旬の土曜日実施予定)

プログラム参加者は、危機管理オリエンテーションに必ず出席しなければなりません。病気などで欠席する場合を除いて必ず出席する必要があります。当オリエンテーションに適切な理由なく欠席した場合は、プログラムの参加を認めないことがあります。その際発生するキャンセル料はご自身でご負担いただきます。

## ■事後授業(2023 年 9 月実施予定)

現地での研修を終えて帰国した後は、事後授業(成果報告会を兼ねる)への出席やレポート提出が義務付けられています。事後授業の曜日講時および詳しい内容は、事前授業の際にお知らせします。

## ■成績評価(2024 年 3 月発表)

最終的な成績は、事前授業、留学先での研修に対する評価、帰国後の事後授業、レポート等を総合的に評価して決定されます。

# オーストラリア（メルボルン） グローバル・コミュニケーション・スタディ・プログラム

## プログラム紹介

多民族国家（人口の20%が移民）のオーストラリアでは、文化の違いや多様な価値観（マルチ・カルチュラリズム）に触れることができるので「柔軟性」「視野の広さ」「人間力」が培われます。オーストラリアでは、異文化を認識・受容する意識が高く、ビジネスの現場でもスタイルの違いを理解し協調性を持って受け入れる精神（ビジネスホスピタリティ精神）が浸透しています。中でもメルボルンはビジネスからエンターテインメント、ショッピングやグルメが非常に充実しており、老若男女に人気のある都市です。

このプログラムでは、出発前に事前セミナーを実施します。事前セミナーでは、目的・目標や達成に向けた実施計画を可視化することで、研修の効果の検証をより客観的に行うことができます。

### ①ビジネス研修：

プレゼンテーション、模擬面接、マナーの習得や、グループディスカッションを行い、発言力を強化します。

### ②ホームステイ：

他民族多文化国家のオーストラリアだからこそ！コミュニケーション力、異文化対応力UPを目指します。

## オーストラリアでできること

### ③企業または現地学校にて職場体験：

ホテル・企業・ショップ・小学校・中学校・高校などでの実地研修。グローバルな視野、日本とのビジネス慣習の違い、リサーチ力、コミュニケーション力、自分次第で得るものは無限大です。

| 日付            | 宿泊     | 食事       | スケジュール                                                                     |
|---------------|--------|----------|----------------------------------------------------------------------------|
| 1日目           | 機内     | 夜機内      | 研修地へ向けて出発                                                                  |
| 2日目           | ホームステイ | 朝機内<br>夜 | 研修地到着<br>現地サポートデスクにてオリエンテーション、シティーガイダンス                                    |
| 3日目・<br>4日目   | ホームステイ | 朝昼晩      | 終日：セルフスタディー                                                                |
| 5日目           | ホームステイ | 朝昼晩      | 午前：デスク研修（異文化理解とコミュニケーション）<br>午後：セルフスタディー                                   |
| 6日目           | ホームステイ | 朝昼晩      | 午前：アクティビティー研修（シティーウォークラリー）<br>午後：セルフスタディー                                  |
| 7日目           | ホームステイ | 朝昼晩      | 午前：デスク研修（ワークエクスペリエンス事前研修、マインドセット、異文化理解）<br>午後：セルフスタディー（ワークエクスペリエンスの準備）     |
| 8日目           | ホームステイ | 朝昼晩      | 午前：アクティビティー（メルボルン市内散策、公共交通機関、カフェやショップでの買い物）<br>午後：セルフスタディー（ワークエクスペリエンスの準備） |
| 9日目           | ホームステイ | 朝昼晩      | 午前：セルフスタディー（ワークエクスペリエンスへの挨拶）<br>午後：デスク研修（提出物の確認）                           |
| 10日目・<br>11日目 | ホームステイ | 朝昼晩      | 終日：セルフスタディー                                                                |
| 12日目～<br>16日目 | ホームステイ | 朝昼晩      | 終日：ワークエクスペリエンス型インターンシップ研修（1週目）<br>※15日目午後：フォローアップ研修                        |

|           |         |     |                                                  |
|-----------|---------|-----|--------------------------------------------------|
| 17日目・18日目 | ホームステイ  | 朝昼晩 | 終日：セルフスタディー                                      |
| 19日目～23日目 | ホームステイ  | 朝昼晩 | 終日：ワークエクスペリエンス型インターンシップ研修(2週目)                   |
| 24日目・25日目 | ホームステイ  | 朝昼晩 | 終日：セルフスタディー                                      |
| 26日目      | ホームステイ  | 朝昼晩 | 午前：セルフスタディー<br>午後：まとめ研修＋修了式(3週間を通しての学びと今後の目標の発表) |
| 27日目      | メルボルン市内 | 夜機内 | 午前：空港へ移動<br>午後：日本へ                               |
| 28日目      | 機内      | 朝機内 | 午前：日本到着                                          |



## 募集要項

|      |                                                                                                  |        |                                                                                                                                                                                                                       |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 科目名  | 海外インターンシップ                                                                                       | 宿泊先    | ホームステイ                                                                                                                                                                                                                |
| 担当教員 | 稲垣 俊史 / 久野 聖子                                                                                    | 食事     | 1日3食：<br>ホームステイ先でとる食事及び各自がホームステイ先から持参する昼食。それ以外の食事は含まれません。                                                                                                                                                             |
| 事前授業 | <b>【事前授業】</b><br>2023 年度春学期に4回程度実施。<br><br><b>【事後授業】</b><br>帰国後に成果報告会を実施。<br><br>詳細は参加者に別途ご案内します | 同行員    | プログラム担当教員は同行しませんが、現地世話人をおきます。                                                                                                                                                                                         |
| 日程   | 2023年8月10日(木)～9月7日(木)                                                                            | 参加費用   | 約680,000円<br><b>●含まれるもの</b><br>往復航空券、空港往復送迎料金、現地プログラム費用、ホームステイ料金(宿泊・3食付)、日本国内での事前セミナー費用、空港諸税、航空保険料、燃油サーチャージ<br>※参加費用は2022年11月現在の為替レートに基づいて算出しております。レート変動によって金額が変わることがありますのでご了承ください。<br><br><b>●含まれないもの</b><br>上記以外のもの |
| 定員   | 約15名(最少催行人員2名)                                                                                   | 費用の支払い | 参加者決定後、詳細をご案内します。                                                                                                                                                                                                     |
| 対象   | グローバル地域文化学部生                                                                                     | 査証     | 日本国籍である場合は不要。<br>但しETAS(電子入国許可)の取得が必要です。 <u>※現在旅行会社での代行取得が不可のため学生自身で取得が必要です。</u>                                                                                                                                      |
| 研修内容 | <平日><br>・ワークエクスペリエンス：<br>1日約7時間×10日間<br>・デスク研修×3回<br>・アクティビティー研修×1回                              |        |                                                                                                                                                                                                                       |

# カナダ (バンクーバー) SDG's プログラム



SDGsとは「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、国際社会の一員として日本政府も積極的に取り組んでいます。

## 世界の課題に向き合う一員になるために

最近よく耳にするSDGs。「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称です。SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193カ国が2016年～2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。日本には見えない課題について、どのようにコミットしていくか。まずは視野を広げることから始めましょう。課題が大きくても、一人ひとりが考えだすソリューションの積み重ねが目標達成につながります。SDGsは「日本」が達成する目標ではなく、「世界全体」で達成する目標です。その「全体」を認識するために、日本を一度飛び出してみることも、バックグラウンドの異なる学生とディスカッションすること、他国で生活してみることも。これからはみなさんの意識を変え、具体的な行動を変えるきっかけになります。あなた自身のSDGsへの取り組みを具体化し、それをキャリアビジョンにつなげる。それが、今の時代に求められる人材像です。

## 学校概要 (Sprott Shaw Language College - SSLC)

スプロットショウランゲージカレッジは、その頭文字をとってSSLCとも呼ばれている語学学校でカナダ国内には3カ所(ビクトリア・バンクーバー・トロント)キャンパスを持ちます。Sprott Shaw College(1903年設立のカナダ最大規模のビジネス専門学校)の付属語学学校という位置づけになります。SSLCは、バンクーバーのダウンタウンにあり、スカイトレーニングランビル駅から徒歩5分程度でハウストリート沿いのビルに入居しています。学校の前にはショッピングモールの入口があり、周辺にはレストラン、カフェ、フードコート、スーパーなどお店が立ち並び治安の良い繁華街です。日本人スタッフが常勤しており、何か困ったときや相談事に日本語で対応しております。



SPROTT  
SHAW  
LANGUAGE  
COLLEGE



## SDGs 訪問先企業・団体情報例 (19年度実績)

### ① MOSAIC

移民・難民の人々に対し、カナダでの生活のサポートを行っている非営利団体です。具体的には居住・教育(言語面)、雇用、カウンセリング、子供や女性に対するサポート等を日常業務として行っています。モザイク移民国家を標榜するカナダは多様性を国力の源泉とすることから、最もカナダらしい訪問先と言えます。



### ② Global Education City

GEC(不動産、教育関連企業)に、UBC卒業の日本人スタッフが常勤されています。英語・日本語を交えてインターナショナルな環境における働き方・雇用環境等に関するレクチャー及び海外生活や就労に関する話を予定しております。ダウンタウンにあるGEC VIVA 1Fのショールームは本プログラム参加学生全員を収容できるので、プロジェクターを使ったプレゼンテーションを行います。GECは上場企業であるCIBT Education Groupの傘下にあるグループで、様々な国籍のスタッフが在籍するインターナショナルな環境であり、企業としても新しい大きなプロジェクトが動いているので、今後ますます発展が期待されます。UBC卒業生かつ日本人の視点で海外での就労についてのお話が聞けます。



### ③ Recycle Smart

様々な企業に対し、リサイクルに関してコンサルティングを行っている企業です。"12th Fastest Growing Canadian Company 2018"や"Growth 500 Female Entrepreneur of the Year 2018"にも選ばれたカナダで最も注目される優良企業の1つです。特にバンクーバーの中では、成長が著しいベンチャー企業となっています。オフィス自体はRichmondにあり、おもにコンサルティングを行う会社なのでFacilityとしては「オフィス」という感じになりますが、会社の取り組みや成果は非常に面白く、SDGsの内容にも合致しています。



## 授業内容

### ●午前9:00～12:00 SDGsカナダ雇用環境調査(カスタムクラス)

持続可能な開発目標(SDGs)について、カナダ政府は、NPO団体、民間企業、地域社会などに働きかけて17の目標に関する国家戦略を推進しています。午前クラスではSDGsファシリテーターによる指導のもと、カナダの雇用環境についてレクチャーを受けた後、民間企業又はNPO団体を実際に訪問し、働き方が生きがい、公平な社会における責任と義務、経済成長や社会貢献について現場の社員やインターン生に直接インタビューを行い、カナダの雇用環境について調査を行います。

### ●午後13:00～15:00 コミュニケーションクラス(国際クラス)

午後クラスではスピーキングや発音共生などコミュニケーションに特化したクラスを他国の留学生と共に受講します。授業は多くの会話が行われるよう工夫がなされており、全6レベル設置されているので、この語学力に合ったクラスで学べます。レベル1-3ではカナダ留学生生活で直面する事柄やその意味、北米文化の理解につながる知識習得をたくさんのディスカッションを通して学びます。レベル4-6ではより実践的な英語、ビジネスの場面を想定した正確な表現方法について学びます。

### ●午後15:10～16:00 放課後クラス&ワークショップ(国際クラス)

通常のレッスンが終了した後の午後3時から様々なワークショップに参加できます。一例として、会話クラブ、イディオム&スラング、映画&ドラマクラブ、文法、ライティング、履歴書の書き方、面接対策、職場でのコミュニケーションなどが開催され、一般クラスとは一味違ったレッスンを体験できます。

### ●午後16:00～17:00 SDGsセルフリサーチ(自主学習)

訪問先となる民間企業やNPO団体の事前リサーチ(訪問前の知識習得及び担当者への質問準備)や訪問後のレポート作成など、自主的な学習にあてられます。

| 日付              | 宿泊     | 食事                 | スケジュール                                                                                |
|-----------------|--------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 1日目             | ホームステイ | 昼夜機内               | 研修地へ向けて出発<br>夜:現地到着後、ホームステイ先へ移動                                                       |
| 2日目             | ホームステイ | 朝○<br>昼○<br>夜○     | オリエンテーション&スピーキングテスト<br>SDGs(ファシリテーターによるレクチャー)<br>発音&コミュニケーションクラス<br>ワークショップ / セルフリサーチ |
| 3日目<br>～<br>5日目 | ホームステイ | 朝○<br>昼○<br>夜○     | SDGs(民間企業またはNPO団体訪問)<br>発音&コミュニケーションクラス<br>ワークショップ<br>セルフリサーチ                         |
| 6日目             | ホームステイ | 朝○<br>昼○<br>夜○     | SDGs(総括&レポート作成)<br>発音&コミュニケーションクラス<br>修了式                                             |
| 7日目<br>～<br>8日目 | ホームステイ | 朝○<br>昼○<br>夜○     | 終日:休み                                                                                 |
| 9日目             | 機内     | 朝○<br>昼:機内<br>夜:機内 | 現地空港へ                                                                                 |
| 10日目            |        | 朝×<br>昼×<br>夜×     | 日本到着                                                                                  |

## 募集要項

|      |                                                                                                         |        |                                                                                                                                                                                                                         |
|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 科目名  | 海外インターンシップ                                                                                              | 宿泊先    | ホームステイ                                                                                                                                                                                                                  |
| 担当教員 | 稲垣 俊史 / 神崎 舞                                                                                            | 食事     | 1日3食<br>ホームステイ先でとる食事及び各自がホームステイ先から持参する昼食。それ以外の食事は含まれません。                                                                                                                                                                |
| 事前授業 | <b>【事前授業】</b><br>2023年度春学期に4回程度実施。<br><br><b>【事後授業】</b><br>帰国後に成果報告会を実施。<br><br>詳細は参加者に別途ご案内します         | 同行員    | プログラム担当教員は同行しませんが、現地世話人をおきます。                                                                                                                                                                                           |
| 日程   | 2023年8月27日(日)～9月5日(火)                                                                                   | 参加費用   | 約570,000円<br>●含まれるもの<br>往復航空券、現地空港往復送迎費、現地プログラム費用、ホームステイ料金(個室・3食付)、渡航前オリエンテーション(レベル分けテスト)、現地交通費(通学分)、空港諸税、航空保険料、燃油サーチャージ<br>※参加費用は2022年11月現在の為替レートに基づいて算出しております。レート変動によって金額が変わることがありますのでご了承ください。<br>●含まれないもの<br>上記以外のもの |
| 定員   | 約15名(最少催行人員10名)                                                                                         | 費用の支払い | 参加者決定後、詳細をご案内します。                                                                                                                                                                                                       |
| 対象   | グローバル地域文化学部生                                                                                            | 査証     | 日本国籍である場合は不要。<br>但しeTA(電子入国許可)の取得が必要です。                                                                                                                                                                                 |
| 研修内容 | <平日><br>・SDGsカナダ雇用環境調査(カスタムクラス)<br>・コミュニケーションクラス(国際クラス)<br>・放課後クラス&ワークショップ(国際クラス)<br>・SDGsセルフリサーチ(自主学習) |        |                                                                                                                                                                                                                         |